

中経論壇

日本公認会計士協会
東海会副会長
里恵 柘植



「お母さんなんか大嫌い。私のこと、ちっともわかってくれない。ただ聞いてほしいだけなのに」。私は3人の子を持つ母である。長女は、小

0年度24・6%まで上昇し、KPI達成まであと少しと思っていたところ、2021年度は21・8%に下がってしまった。それよりも会員・準会員の女性比率は2021年12月末現在で15・8%といふ水準です。合格者の比率に比べて、会員・準会員の女性比率が低いのは、せつなく合

0年度までに公認会計士試験 監査という仕事は時間との闘いであり、やはり時には残業させる、という二つの目標 業などは仕方がない職種で達成に向けて現在いろいろな 監視法人勤務時代には、取り組みを実施しています。 その仕事にやりがいを感じて 女性の試験合格者は202 いたものの、今後結婚・出産

女性が活躍できる職業

女性公認会計士としてのワークライフバランス

して子育てしながらの委員の仕事などを自分のペースで行うことができませんでした。私にはこのような多様な働き方も無理だな、と私の方を選択できたことで、仕事自身も思っていました。と子育てを両方ともがんばる。そのため、結婚 ことができ、本心に良かった。数年後に監査法 場会社の社外役員に就任する機会にも恵まれ、さらに仕事の幅が広がったと感じます。

数年前からコロナ禍になり、状況は一変しました。監査業務も大手監査法人などで、かなりの割合がリモートとなり、出産・育児期の女性にとっては多様な働き方の一つとして、リモートでの仕事が可能になったことはとても良いことだと思います。

このように、公認会計士という職業は女性が働くという点からとても良い職業であると感じており、今後この資格を目指してくれる女性が増え、出産・子育てをしながらでも公認会計士としてさまざまな分野で活躍される女性が増えてくれることを願っています。

オープンカレッジ

社会学者マーチン・トロウによると、大学進学率が15%を超えると高等教育は「エリート型」から「マス型」へ、50%を超えると「ユニバーサル・アクセス型」へと移行するとされている。日本は、ユニバーサル段階に入っていないが、男子が、2000年代後半からはほぼ横ばいであるのに対し、女子は、堅実な上昇トレンドが続いている。学歴と年収や職業的地位が正の相関にあるのは、周知の通りだが、日本の場合近年の高学歴化にも関わらず、女性の社会的地位は、先進国中最低のレベルに留

女性の高学歴化と社会的地位

マス型からエリート型への編入制度の整



PHOTO NEWS

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館(同県橿原市)で、県内の発掘成果を紹介する速報展「大和を掘る」が9月11日まで開かれている。展示は毎年、前年度の成果を紹介する形だったが、博物館の大型改修により2018年以降の開催。岡林孝作館長は「今回は4年分の成果を見ることが出来る。ぜひ何度も足を運んでほしい」と話す。県内の自治体や同研究所などの18~21年度の発掘成果のうち、30遺跡の出土品など約660点が見られる。邪馬台国の有力候補地・纏向(まきむく)遺跡(同県桜井市)からは短剣のさやなど出土例の少ない刀剣装具が複数見つかった。朝鮮半島などで使う床暖房「オンドル」とみられる石組みが付いた大壁建物跡がある清水谷遺跡(同県高取町)では、石で囲われた池が確認された。周囲からは焼けた木製品や馬の歯が出土し、池で祭祀(さいし)をしていた可能性があるという。

オピニオン

Opinion



山女学園大学 現代マネジメント学部准教授 野崎 祐子

のなき・ゆうこ 労働経済学、応用ミクロ計量経済学。広島大学大学院社会科学部研究科博士課程後期修了。博士(経済学)。

まっただまである。歴史的背景と最新の実証研究からそのパズルを探っていく。

ナビゲーター

一人の人をほんとうに愛するということとは、すべての人を愛することであり、世界を愛し、生命を愛することである。自信を持って「あなたを愛している」と言えるなら、「あなたを通して、すべての人を、世界を、私自身を愛している」といえるはずだ。エーリッヒフロム「愛するということ」(鈴木晶訳)より

「お母さんなんか大嫌い。私のこと、ちっともわかってくれない。ただ聞いてほしいだけなのに」。私は3人の子を持つ母である。長女は、小

産業カウンセリング理論と私の実践

◆ 22

学校高学年の時、友達とうまくいかず、私にそう言った。「それは、あなたにも悪いところがあるからじゃない」。私は、彼女の気持ちに寄り添うどころか、傷ついた彼女にそんなひどいことを言った。幼い頃から、人の気持ちを感じることに敏感だった私が、なぜ、一番大切な自分の娘の心を感じてあげられなかったのか、そんなことに悩む日々、私の尊敬する職場の先輩が「カウンセラーの資格をとらない?きつと向いてい

人に寄り添う、愛すること

る」と声をかけてくれた。何か答えが見つかるかもしれない、そんな想いで受講を決めた。ちょうど受講をはじめた頃、私の仕事の忙しさはピークをむかえていた。今思えば、かなり精神的に追い詰められていたように思う。講義では、受講生がお互いカウンセラーとクライアントになり、それぞれの立場を経験していく。クライアントとして、守秘義務のある安心感と優しい志をもつ受講生の中

で、自分の本当の気持ちをさらけ出すことができた。ある時、私は自分のあふれ出るつらさと悲しみを涙を流した。優るとき、カウンセラー役である受講生の仲間が、何も言わず、私から目を離さず、一緒に静かに涙を流してくれた。それを見て、私は、この人にとってすべてを受け入れてもらったような、暖かく心が解けていくのを感じた。人の心に寄り添うとはそういうことなのか、私の中で答えが見つかった気がした。

本当の気持ちをさらけ出す

たぶ 学生 ろう 受は てい が甲